

非常持ち出し品を用意しましょう



非常持ち出し品をリュックサックなどにまとめておくと安心です。この他、自分に必要な物があれば追加しましょう。

チェックリスト

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備電池
- 携帯電話・充電器
- モバイルバッテリー

貴重品

- 現金
- 通帳
- 印鑑
- 健康保険証

食料・水

- 乾パン
- 缶詰
- カップ麺
- ビスケット・チョコレート
- ペットボトル入り飲料水

衛生用品

- 衣料
- タオル
- ウェットティッシュ
- 洗面用具
- 携帯トイレ
- 使い捨てカイロ
- マスク
- 軍手

医薬品

- 解熱剤・風邪薬・胃腸薬
- 目薬
- 傷薬・ばんそうこう
- ガーゼ・包帯・三角巾
- はさみ
- 体温計
- お薬手帳

その他

- 乳児用ミルク・哺乳瓶
- 紙おむつ
- 生理用品

水害・土砂災害時の避難行動

大雨により、水害や土砂災害が発生するおそれのあるときは、外出を避け、次のように行動しましょう。



気象情報の入手

テレビやインターネットなどで最新の気象情報、河川の水位情報を確認する。また、プランターや物干しなど、飛散の危険がある物を室内へ取り込む

避難の準備

避難所と避難経路を確認する。非常持ち出し品、移動時に地面の状況を確認するための棒・杖・傘などを用意する



避難のタイミングを確認

市から発令される避難情報と警戒レベルを確認する

避難開始

避難情報（警戒レベル3以上）の発令で避難する
※発令前でも、子供や高齢者がいる場合や危険を感じた場合は自主的に避難する

避難するときは…

- ぼ** 棒や杖で地面の状況を確認しよう
- う** 運動靴を履いて、徒歩で移動しよう
- さ** 30cm以上の水深は危険！高い場所で救助を待とう
- い** 一緒に避難。なるべく二人以上で行動しよう

逃げ遅れた場合

- 水害の場合は、住宅や近くの建物のより高い場所に避難
- 土砂災害の場合は、崖などから最も遠い部屋や、近くの頑丈な建物等に避難

土砂災害の前兆現象に注意

以下の現象を確認した場合は、直ちに避難しましょう

- 山鳴り・地鳴りがする
- 小石が落ちてくる
- 崖や地面にひび割れができる
- 崖や斜面から水が噴き出す
- 降雨時に川の水位が下がる など

洪水ハザードマップをチェック

川が氾濫した場合に想定される浸水区域や、避難所などを掲載しています。3月に市内全世帯に配布しており、市HPでも見ることができます



昨年7月の大雨で氾濫したペーパン川

最新情報を得て、早めの避難を

国の避難勧告等に関するガイドラインの改定により、今後は市が避難情報を発令する場合、「住民の取るべき行動」と「警戒レベル」を同時に伝達します。

避難行動の基準

| 避難情報 | 住民の取るべき行動 | 警戒レベル |
|----------------------------|--------------------------------------|--------------------|
| 災害発生情報 | ● 大至急安全な場所へ移動するなど、命を守るために最善の行動を取る | 警戒レベル5 |
| 避難指示（緊急） | ● 直ちに避難 ● 避難所への移動が危険な場合は安全な場所へ避難 | 警戒レベル4 (全員避難) |
| 避難勧告 | ● 速やかに避難 ● 避難所への移動が危険な場合は安全な場所へ避難 | |
| 避難準備・高齢者等避難開始 | ● 高齢者等は避難を開始 ● 他の人は避難準備を開始 | 警戒レベル3 (高齢者等避難) |
| (気象庁が注意報などを発表) | ● 避難に備えて、避難所や避難経路、避難のタイミングなどを確認 | (警戒レベル2) |
| (気象庁が警報級の可能性(警報を出す可能性)を発表) | ● 最新の気象情報に注意し、災害への心構えを高める | (警戒レベル1) |

高い

旭川市が発令

低い

避難マニュアル（市民用）を活用しましょう

市では、水害などの自然災害に備えて事前に確認しておくことや、適切な避難行動などをまとめた「避難マニュアル（市民用）」を作成しました。市HPに掲載していますので、ご覧ください。



水害に備えて
避難行動を確認しましょう

昨年7月の大雨で、市内では住宅等への浸水被害が発生しました。命を守るためには、日頃の備えが大切です。避難行動の基準や、避難時の心掛けなどをお知らせします。
 【詳細】防災課 33・9969